

3.11後の生き方
Living the Life After 3.11



たった一人で呼びかけた脱原発デモ

2011年の四月三日、札幌市内で、福島原発事故以後初めての脱原発を訴える市民によるデモ行進が行われました。このデモ行進を主催し、市民に参加を呼びかけたのは、札幌市内に住む一人の女性の方でした。その女性は、福島での原発事故が起きた後、北海道にある泊原発のことが心配になり、い

ますぐにでも原発を止めてほしいと思

い、まわりの人たちに「原発を止めることを訴えるデモ行進はしないのですか？」と聞いてまわったそうです。しかし、周囲の反応がいまひとつであったため、それならば**「私一人でもやろう」ということ**で、**「たった一人でデモ行進」と「署名活動」**の呼びかけを始めたのでした。彼女にとっては、「デモ行進」への参加を市民に呼びかけるのも、警察署への「アム申請」の手続きをするのも生まれて初めてのことであったそうです。その日のデモ行進には、労働組合や政党などからの大量動員があるわけでもないのに、口コミとインターネットによるお知らせだけで、なんと二百名以上もの市民が集まったのでした。

たった一人で参加した脱原発デモ

私はこの脱原発デモのことを翌日の新聞記事で見たのですが、数日後、二回目のデモ行進のお知らせをインターネットからの情報で知りました。そして、誰からも誘われたわけでもないのですが、**「たった一人で、自分だけの意志で、この脱原発のデモ行進に参加したのでした。これまで労働組合関係の様々なデモ行進には、何度も参加したことはあるのですが、脱原発や原発関係のデモ行進に参加するのは、なんと1980年の下川町の核廃棄物反対のデモ行進以来のことでした。」**



この時のデモ行進の参加者は、たしか三百人を越えていたと思います。みんな思い思いのプラカードやボードを持って、原発反対や脱原発を訴えるメッセージを叫んだり、歌ったりしている人もいました。これまで私が参加してきたデモ行進に比べて、シュプレヒコールもなく、なんと雑然とした感じでしたが、若い人たちが女性たち、それに親子での参加者が目立ちました。

「デモ行進が終わったあと、このデモ行進を企画し、呼びかけた一さんから「これからの北海道の脱原発の活動について、集まれる人たちだけでも、いまちょっと話し合いをしませんか」というお誘いがありました。その時、私はなんとなくそのまま、そのお誘いについていったのですが、そこに集まった人たちには、ほとんど誰も顔見知りはおらず、私自身場違いな感じを抱きながらも、その話し合いの場に参加しました。

そこで、このデモ行進をたった一人で呼びかけた張本人である一さんが、「これからは皆さんが、それぞれの場で、それぞれが出来ることから始めていきませんか？」とお話されたことが、私にはとても強く印象に残りました。

それぞれが出来ることから始めること

「**たった一人でも、それぞれが出来ること、やることから始めていく**」、それが、3・11をきっかけにして、一さん自身が始めた「3・11後の生き方」そのものだったのです。そのような彼女からの問いかけに対して、私自身は「では自分には、いったいどんなことが出来るのだろうか？」というところを、自問自答してみました。そして、やはり教師である自分自身には、「授業すること」しかないのではないかと、それがいま目の前にいる生徒たちだけに、それ以外のもっと多くの人たちに私の「授業」を聞いてもらうこと、そんなことは出来ないだろうか？と考えました。

その時に考えたことが、後に市民に向けての「**原発出前授業**」ということになる大きなきっかけとなったのでした。



ベターデイズプロジェクト主催「Live & Seminar in ban.K」での川原さんのセミナー。まさにライブそのものの熱気を帯び、来場者をぐいぐいと惹きつけていきます。

EVENT INFO

学ぶ

shut泊

「自然エネルギーと原発のこれからを考える連続講座6」

北海道電力は昨年の秋に続いて、この11月から家庭向け電気料金の再値上げをすることを発表しました。すでに2年以上停止している泊原発が再稼働するなら値下げするとしていますが、現在のところ再稼働のめどはまったく立っていません。原発のつくる電力に頼らない北海道のエネルギーのこれからを考えるShut・連続講座の第6期目では、いま北海道電力と泊原発が抱えている大きな課題と、北海道のエネルギーのこれからについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

1.29(木)18:00開場/18:30開演

「泊原発と再稼働問題のこれからを考える」

講師：小野有五さん（北海道大学名誉教授、泊原発の廃炉をめざす会共同代表）

@エルプラザ2F 環境研修室
(札幌市北区北8条西3丁目)

2.26(木)18:00開場/18:30開演

「原子力防災避難計画のこれからを考える」

講師：深町ひろみさん（北海道の脱原発のために地方自治を考える会）

参加費：各回500円 問合せ：skawahara1217@nifty.com
主催：shut泊 FAX011-896-0642

「Better Days」サポートのお願い

「Better Days」編集部では、以下の項目についてサポートしていただける方を募集中です。

広告スポンサー

誌面に広告を掲載することで資金面での支援をお願い致します。(年間全6回契約)

カンパ

可能な時に可能な範囲で、資金面での支援をお願い致します。(契約なし)

設置・配布店舗

毎号10~50部程度置かせていただくことで、普及啓蒙面で支援をお願い致します。

カンパのご入金先

随時受付中。発刊の度に郵送いたします。

ゆうちょ口座：02730-3-47837

加入者名：NPO 法人ベターデイズプロジェクト

NPO法人ベターデイズプロジェクト 会員募集のお知らせ

仲間が増える！ 楽しいから 学びが増える！ 続けられる！

主催イベント「Live & Seminar」、協力イベント「林田健司流 復興支援歌プロジェクト・みんなの音がさね」、フリーペーパー「Better Days」編集、その他、各協力団体主催イベントへの支援など、ともに活動していただける仲間を募集しております。

一般/法人会員 一口1,000円×12ヶ月（議決権を有します）

賛助会員 一口5,000円×12ヶ月（議決権はありません）

※ともに一年ごとの更改となります。

お問合せ・お申込はメールにて承ります

info@betterdays-project.net

スマートフォン・携帯電話からのご連絡の場合、betterdays-project.netからのメールを受信できるよう設定して下さい。エラーで届かないことがあります。